

しゃれまちニュース Vol. 6 2004. 12. 6

◆第6回準備協議会報告◆

ときわ台しゃれ街準備協議会事務局

【1】 H & C財団より

百万円の調査助成金下りる

【2】 講演会 12月12日(日)

「景観法で街は救えるか」

西村幸夫東大教授

【3】 ホームページ開設

アドレス : www.geocities.jp/sharemachi/

【4】 アンケート実施

1月予定 全戸配布・聞き取り回収

【5】 愛称募集

引き続き募集中

【6】 見学会

1月 : 成城・田園調布

3月 : 未定

ニュースの問い合わせ先 : 久世洋一 TEL/FAX 3969-7291

第6回ときわ台しやれ街準備協議会が11月23日(火)午後1時から常盤台1丁目集会所で行われました。

今回は前回行ったワークショップの検証を兼ね、ときわ台のまち並みを散策しました。

その後、H&C財団調査助成金の支給を受けた事により、今後の活動方針に付いて協議しました。

[1] H&C 財団の「調査委託」と「しやれ街通信」の全戸配布

しやれ街準備協議会は、上記財団から平成16年度の住まい・まちづくり活動団体の調査事業に関する助成金を受ける事ができました。その為、各種事業をより一層、強力に推進する事が出来るようになりました。
それにともない、「しやれ街ニュース」は住民ボランティアにより全戸配布する事となりました。(少しですが謝礼金が出ます)町内会回覧は従来通り行います。

又、準備協議会会員の会費500円/月については、当分徴収しない事となりました。(念の為、町会費ではありません)

[3] ホームページの開設

アドレス www.geocities.jp/sharemachi/
皆様のご意見、質問等どんどんアクセスしてください。

[5] 愛称募集

*シャレマチックときわ台、*ユートキワ、*エバーグリーン
といった愛称が10編ほど集まっています。引き続き募集中です。

[2] 講演会

「景観法でまちは救えるか—その仕組みと可能性」

12月12日午後3時から5時 天祖神社にて「景観法」の生みの親である西村幸夫東大教授による講演会が開催されます。
ときわ台の今後のあり方を考える上でもタイムリーな内容です。
多くの方に聴いてもらえればと思います。

[4] アンケートについて

アンケートはときわ台の住民の方たちが、この街をどのように見て、感じているのか、そしてどのような街にしたいのかを理解するために行います。

来年1月に配布、回収し、2月に分析する予定です。

皆様のご協力宜しく御願い致します。

[6] 見学バスツアー

1月23日「日」に成城・田園調布等良好なまち並みを見学し、ときわ台の検討資料にと考えています。

**次回の協議会は12月19日(日)13時より 常盤台1丁目集会所

しゃれ街準備協議会 6か月のあゆみ

平成16年3月3日、わたしたちの常盤台1・2丁目地区は、東京都の「しゃれた街並みづくり推進条例」にもとづいた「景観重点地区」に指定されました。このとき同時に8地区が指定され、そのうち同じような街並み景観地区に指定されたのは「柴またの帝釈天通り」の1か所だけで、都内のしゃれた街の代表として認められたことは、大変光栄で喜ばしいことあります。これから1・2年かけて住民が主体となって自由な発想で、しゃれた街をデザインしていきます。そして全体の3分の2の合意を得て、景観ガイドラインを作成し、緑ゆたかな美しい街を整備、保存してゆくこととなりました。この推進機関としてあらたな協議会の設立が必要となり、この協議会に参加した住民や町会や商店街のかたがたと協議し、「しゃれ街準備協議会」が発足しました。

第1回 6月28日 設立の会を開きました。

住民、都職員、区職員が集まり、制度の趣旨などを勉強しました。

第2回 7月21日 前会の続きで都の担当職員から説明を聞くほか、出席会員から、さまざまな提言がおこなわれ、会としての方向づけがなされました。

第3回 8月27日 会の名称を決める。

名称を「ときわ台しゃれまち準備協議会」とし、会の目的について、深い議論を行いました。

第4回 9月28日 代表・活動計画など決める。

代表、顧問、会計責任者を決めたほか、会則・活動計画を定めました。

第5回 10月24日 「常盤台の現状」について集中討議

ワークショップ形式で常盤台の良い点、改善すべき点を拾いあげました。

第6回 11月23日 町内見学と新たな推進策を検討

財団より資金手当てを得たので、その裏づけのある推進策として、ニュースの全戸配ふ、アンケート調査など検討

そしてこれから

1. 月1回の定例会合で、常盤台のあるべき姿をイメージして討論を重ねて行きます。
2. 住民の総意を知るため、アンケート調査を実施します。(2005年1月)
3. 講演会、見学会を実施します。

これからより、ガイドラインの立案を目指して活動を続けてまいります。

ご意見、ご支援をお願いいたします。

「景観法でまちは救えるか —その仕組みと可能性—」

いま話題の「景観法」生みの親

東京大学 西村幸夫教授 講演

12月12日(日) 15:00~17:00

常盤台南口 天祖神社神楽殿

ときわ台しやれ街準備協議会主催
板橋区教育委員会後援

西村幸夫氏プロフィール

1952年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院終了。
明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授。
この間アジア工科大学助教授（バンコク）、MIT客員研究員、
コロンビア大学客員研究員などを歴任。
専門は都市計画、都市保全計画、市民主体のまちづくり論など。
工学博士。



代表的出版物

『都市保全計画』（東大出版会 2004年）、『西村幸夫 都市論ノート』（鹿島出版会 2000年）、『環境保全と景観創造』（鹿島出版会 1997年）、『町並みづくり物語』（古今書院 1997年）、『シビック・トラスト－英国の環境デザイナー』（駿々堂 1995年）、『アメリカの歴史的環境保全』（実教出版社 1994年）、『歴史を生かしたまちづくり』（古今書院 1993年）

問合せ先

中島淑夫 TEL・FAX

03-3966-9674

編集後記

しやれ街ニュースは、今回から全戸配布に成りましたので、町会加入者以外の方たちにも、今までの経過を理解していただく為、2枚に渡りました。

調査助成金の支給がこの活動の弾みとなり、貴重な財産であるときわ台のまち並みを保全し、より良い街にして行く好機と成りました。

住民主体の活動です。皆様のご参加、ご協力が不可欠です。宜しく御願い致します。

久世、西村、野崎